

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・必修
	対象学科・専攻	都市環境デザイン工学科
測量学実習 (Surveying Practice I)	担当教員	堤 隆 (Tsutsumi, Takashi) 池田 正利 (Ikeda, Masatoshi)
	教員室	土木工学科棟3階 (Tel.42-9019) 土木工学科棟3階 (Tel.42-9120)
	E-Mail	tsutsumi@kagoshima-ct.ac.jp m_ikeda@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実験・実習 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 測量器械の操作方法と、基礎的な誤差の調整方法の修得を目標とする。		
〔本科目の位置付け〕 測量学の基本をなす測量学 の学習内容を、実習を通して定着させる。		
〔学習上の留意点〕 器械の操作を確実にこなすこと。また、5～6人を一班とするグループで実習を行うので、協力して実習を遂行すること。また、授業の進行状況、天候によって測量学 の授業時間と交換することがあるので注意すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 距離測量	4	歩測、目測で距離感を身につけることができる 中間点を入れて巻尺を使った距離の測定ができる
2. 平板測量	20	平板の据付けができる 道線法、放射法を用いた測量ができる
3. 水準測量	10	昇降式、器高式を用いた水準測量ができる
4. 角測量	8	トランシットの据え付けができる 単測法、倍角法、方向法を用いた測量が出来る
5. トラバース測量	18	踏査、選点、距離測量、角測量、内業の作業を通してトラバース測量を遂行する能力を身につける
〔教科書〕測量学 堤 隆 コロナ社		
〔参考書・補助教材〕 プリント		
〔成績評価の基準〕実習レポート100% - 実習態度20%		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-c, 4-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		